

プロローグ

アフリカ川...僕は学習前砂漠の多い所やサボテン、水の全くな場所...僕は
そういうイメージをもっていた。他の川よりおとっている。そんな感じと、思っていた。しかし僕
は7時間の授業、アフリカの旅に出て、僕はアフリカのイメージがガラッと変わった。
最初は、「そんな授業やっても意味ない」と他人事になっていたが自分も考えな
くては、と、最後にはイメージがガラッと変わった。

1時間目...テーマは、「メコン川をめぐる争い、あなたはどちらを支持する?」とい
う。アフリカからかけ離れたなと中国のことだ。僕は、「アフリカと関係ないじゃん」と思
っていたが、後で気付いた。まさか、後でつながってくるとは僕も思わなかった。その内容
は、メコン川上流に中国がダムをつくらせていることにより、下流国が水不足や魚の不
漁などで困っている。あなたは、中国か下流国5か国、どちらを支持するか?という
問題。僕は、「絶対に下流国を支持する」と答えた。困っているから、かわいそうだから、
そう僕は踏んでいた。しかし、中国の立場を聞くと、「下流国支持」とがたち決めた。
しかし今は、「和」である。どちらかか、「認める。条件付き」という意見となった。

まず、中国の立場だが、「電気」を求めているらしい。「中国は人口が多いため、
電気が足りていない」と、中国は言っている。しかし下流国は、生活ができてなくなっ
ていると主張する。やはり、中国と下流国の真実が違う。やはり食、違う。人の真実が
違うから意見が違う、僕はそう確信した。その時候は、「生活の方が大事。」と考えた。相の
私のせいで、下流国6600万人が生活できていないらしい。だから中国の「電気よりも、
下流国の「6600万人の命」の方が大切だ」と思った。しかも、中国の水は十分に足りて
いて僕はその水で電気をくればいいのと思った。しかし、反対の意見を聞き、「あ、確かに、

と考え直した。それは、「水路国際条約第5条を字ればダム作るのはOKなんじゃないかな説」である。確かにそうすれば下流国にも上流国も得である。中国と下流国で話し合っ、その案でダムを作れば、一石二鳥だと思ふ。それで今考えれば、認めるべきの方向に近付いた。条件というのは、「水路国際条約第5条の、水路国はそれぞれの領域において国際水路を公平(こうり)かつ合理的な方法で利用する。特に水路国は、関係する水路国の利益を考慮(こうし)しつつ水路の適切な保護と両立する利用及びそこから生ずる便益(べんえき)を最適かつ持続可能なものとするように水路を利用し、その開発を行う」というところをしっかりと字れば、中国はダム作ってもOKというものです。1時間で、意見が正反対に変わりました。正反対じゃなく条件つきで対峙...。また、それが、6.7時間目の「エチオピアのダム問題への争い」について、また全然知らなかった。なぜなら次元の違うから...。中国と同じようなことが、エチオピアで起こっているのだ...

この時間自「アフリカってどんな地域?」という課題。ようやく「アフリカ」という文字が出てきた...。僕のアフリカのイメージ学習前は砂漠とかゾウとか紛争とかセブドとか貧困・発展途上国とか...。砂漠と貧しい、これがアフリカのイメージでした。でも、次の授業で、これだけではないんだと分かり、アフリカのイメージが少し変わったのは、本当にはアフリカはどんな地域なのか。まず、日本の学習で小学生のころよく学んでいた「気候帯」がある。僕は砂漠95%と、はいはい砂漠が広がるのだと思っていた。しかし、本当は、熱帯・温帯(熱帯雨林

この時「自『アフリカ州としての地域』という課題。ようやく『アフリカ』という文字が出てきた...! 僕のアフリカのイメージ学習前は砂漠とかゾウとか紛争とかセゾットとか貧困・発展途上国とか... 砂漠と貧しい、これがアフリカのイメージでした。でも、次の授業でこれだけではないんだと分かり、アフリカのイメージが少し変わったのは、本当にはアフリカはどんな地域なのか。まず、日本の学習で小学生のころよく学んだ「気候帯である。僕は砂漠95%と、広いはいて砂漠が広がるのだと思っていた。しかし、本当は、熱帯(熱帯雨林気候Af) 熱帯モンスーン気候AM) 熱帯気候Aw)で38%もしめていた。僕の予想通り、砂漠(砂漠気候BW) ステップ気候BS)が一番多かったが、それでも46%というのは意外と小さく、半分以下という事にびっくりした。気候分布表を見ると、北ヨーロッパの砂漠の幅が、ほぼ同じくらいである。それと、アフリカの地図を見ていると、気が付くことがあった。国境がまっすぐなところがある。エジプト、イスラム、モロコシ王国、トーゴ、ベナン、コンゴ民主共和国(コンゴ2つあるんだ。片主があるのかなど...)

リマリア、アンガ、ザンビア、サビア、ボツワナ、モザンビーク、そして南アフリカだ。スーダン、リビアもあるなあ。これらにおおむねのぼつと疑問に思っていた。調べてみると、アフリカはヨーロッパの木直根地だったようで... ヨーロッパ人が土地を分けるために、緯線を使った国境が今でも残っているようで... アフリカも悲しい過去があったんだなと思いました。次に、貧困(基準は1日あたり1.9\$以下で暮らせた。日本円におくと、なんと200円。1ポンドは1500円)

とおいギリが買えるか買えないかぐらい。そんなに苦しんでいる...^{に苦しんでいる}国、
飢餓に苦しんでいる国(貧困は30%以上, 飢餓は15%以上)を調
べて、思ったことがある。サハラ砂漠、たつ砂漠(BWの地域)は
貧困や飢餓に苦しんでいる人が少ないが、熱帯(Aw, Am, Af)では、ほとんどの
国で飢餓・貧困のどちらかに苦しんでいるか、あるいは両方苦しんでいるのが
不思議である。砂漠のたつ植物は育たないはずなのに。食料は少ない
はずなのに。おかしい。なんでこうなるんだろう。と、ずっと考えていた。それと、貧
困率がマダガスカルおおよそ80%、飢餓率が35%以上となっていますが、
おそろくもっと高いのたろうと、めちゃくちゃ高く、とてもびっくりした。海水を淡水
にかえて、水を船に入れることはできるのに、それで農業とかできないのがなあ。せい
もできることたくさんあるのに。と思っていた。島田さんたちから、排他
的経済地域で漁(たりもできる)とかも思っていた。どうしてからなの
のたろう。

3日寺岡君の言葉は、僕も同じことを考えていた。(ゴラミ
ドとかで有名なエジプト。砂漠(サハラ砂漠)が広がっているのに、
農業とかもできているのたろう)貧困・飢餓が少ないのたせだたろう。人口1億
233万人の食料なんて、砂漠をさけるのか。面積100万km²のうち、砂漠
でないのは5%(=、95%砂漠)5万km²の中で、1億233万人の食料、
くれるものたろうか。その中で、国民総所得が2754億円と、たくさんのもうけ
を出しているのはなぜか。貧困率が5%にも満たない。なぜたろう。砂漠は、かた

なんと、ナイル川から水を引いて、「灌漑農水」しているとは... なんか
 ちよと「分かるか」と思ってしまうが、なるほど、いい案だなと思った。夫から、農業
 にもくんでくるんかなと思った。夫が、7時間目に「エジプトっていいよな国だね」
 と思ってしまう僕なのである。(というレポートはおしまいではないもつと続くので
 くれぐれもぜひ読んで下さい)

降水量が農地面積が広いので

4時間目の課題、なぜエチオピアでは貧困や飢餓が多いの？ ナ
 イルの流域、特に青ナイル(川の55%)の流域を見ると、エチオピア
 が原産国→スーダン→エジプトとなっている。なぜエチオピアは青ナイルの水を
 使わないのだろう。エチオピアでは、灌漑農水はほぼないが、なぜだろう。面積
 (約110万km²)も人口(1億500万人)もどちらも同じような大きさ(位)で全然ちがう(生
 活)をして、僕はエジプトとエチオピア、1人あたりどれだけの食料が手に入るか
 で計算してみた(2000年) エジプトは年間 $\frac{9275}{54500}$ kg(かて)、
 エチオピアは $\frac{3389}{4500}$ (kg or t) (おくらて)と少ない。その理由は、エチオピアの
 降水量が不安定だから、気候が雨季(雨がよくなる時)と、乾季(雨がふらない季節)
 と分かれているから。(→かんがいができない)、それにもかかわらずエチオピアは人口
 が $y = ax^2$ の放物線の様になっている、変化が激しいから、夫からエチ
 オピアは1人あたりで手に入る食料が少ない。また、それで子を増やし
 人口が増え、子供も農に参加させても1人あたりの量は減っていくばかり...
 その負のサイクルを断ち切らないと、エチオピアはマズいのだ。しかも、

次授業に出てくるものがさらにエチオピアの影響をあたえている...

(大変)

5時間目の課題。(4時間目と同ような感じなのですが...) なゼエチオピアの~~情~~困や飢餓が多いのか。なんと、農業だけ(しかも特定の)で国を行って「モカカルチャー経済」を回して!

もしもその年はその植物が上手に育たない年だったら... The end である。収入0。借金なければならぬ! しかも、毎年その植物では豊作不作があり、収入がとて不安定... デメリットが多い...

(それを磨いて、上達が早いというメリットはあるが...) しかも、農家の収入(コーヒー豆)はなんと1kgで10円にも満たない! 収入が低すぎる。

僕だったら、そんなこぼめて海外に出て、もっと他のいい仕事をindeedで調べる。もっとコーヒー豆の金かくを上げていい。物貨上し、沖だから

バシない。(w)僕は、エチオピアの人を救うために、50円/100円値上げしてもいいのではないかと思う。農家の収入を{(コーヒー価格)-(輸入の船分のガリリ代)}

} = 2でいいと思う。SDGsの「産業と働き」というのにかいた気がする。このままだと、農家さんがどんと伸びていってほう、どう

すると「スロバキア」にからコーヒー入れるのというこになるかもしれない。産業は

公平にしなければいけないと考えた。

6日時間目... これで、1日時間目の授業とこがっながてくる。

それは、「川の上流国 vs. 川の下流国」という、ものすごい

戦い。ただ、今単元を終えると、ガッパし考えがかわった。莫大し

きる。どうして僕には決められない。だって、——なのだから。(で

めちかくち理きた(笑))「増水大作戦」のような感じじゃないと...。これ

が、今における、ナイル川の問題——。家で楽しくSPYxFAMILYを見て

いるところじゃないかも...。(僕も見てます! MISSION 10のドッジボールのかが

楽しみです...。これ社会が雑談はダメだ!)僕はこれから常々、考えようと思う。

課題は、「エチオピアによるダム建設、あなたはどうか考える?」エチ

オピアのダム??? ほんの... あた、け? そう思、ていたが、「建設」とあることから

今は計画中か、工事中だと推測した。僕は、これ情きよがイッてるなと思

った。「何と?」、1時間目にした「メコン川の争い—上流国 vs 下流

国—」というやつです。考えがガッパとかわった、あの傍りの問題のことです。

完全なる議論が、引越こされると予感していた... (ちなみに、僕

は、どちらかといえば支持する寄りかも。)

7時間目、「エチオピアによるダム建設は認められるべき?」と

いうよう議論が行われた。(=ニュースではありません。)'エチオピアにダムを!

どんどん支えていきましょう党」と、「エチオピアにダムなんて言わない!

ダムなんて絶対に必要ない党」が、どう論じた。割合(どちらに賛成するか)

では、おおよそ2:2。(計10が全というわけではないです。おおよその値を捨五入し、最

とよまを分かりやすくしたもの。(最悪かい)そう論は束に終わると思ってたが意外と
長い。2つの論争、面白、戦いになった。僕は半々と言ったけど、〇〇な
向は〇〇と、条件つき〇〇た、たので、エチオピアにダムを!とん支えていしまはう党
になった。まず相手の党のフーン(カードゲームではないです)、7:2.2 なの
にかなり強い反発力、かなり受け止めるのが大変、一語した。相手の
意見もよく分かる。さらに、「白ナイルにダム作れは?」という意見もあり、
「でもナイル川、青、白、(赤だっけ?)に分かれているんじゃない?」と思うか
もしれないが、青ナイルの原流国エチオピアは、ナイル川のなんと52%
の水を送っていることが分かった。もしそんなにあたら、かんがい農業すればいい
のに...僕はそう思っていた。しかし、「やらない」のではなく、「できない」と
いうことを、僕はまだ、知らずにいた——。(なんかゲームとかP=メとかマージ
の宣伝みたいになってます。だけども気にしないで下さい。)(to be conted...
つた)という感じにはなりません。)つまり、これは(女)コンリの情きょうニ、ナイル川の
情きょう)といえるのではないだろうか。では、僕の意見は...半々!!「え?半々では
まず、賛成の意見、「貧困や餓死を防ぐべき」、「ちを早くしたか!」、という意見。
また、反対の意見「エジプト・スーダンのことを考える!」「中国反対なら、ちも反対」
「水の量」という(おん)はん、ほく感じるような書き出し(!!)意見、まず、反対。「水の量」だが
ダムは、ナイル川の86(か82)%の水をためられる。このまま計算していくと
ナイル川の水を100xとすると、 $100x - 86x = 14x$ 14%の水だけで2国を
支えるのはムリ!という意見。たか、14%の水で2国を支えるのは不可能。

そもそも、エジプトなんかナイルで支えてやっているのに、そのうちの14% (を) 使って)

約7%の水を生かしていかないとはいけなならない。これは、今の使用量のおよそ $\frac{1}{11}$ 、これ

では、農が難しくなる、というのがおそらく反文境見。こちらも納得できる。次に賛成

意見とか、「飢饉のト + 飢餓のトと助けない」と、負のサイクルの中でエチオピアは

このままでは終わる、という意見。これも、納得できる。これは7時間目で、

納得する意見もあった。次に僕の党のターニ。僕の意見も皆も

意見を言った。(ちょっと意味不明なこともあったが...) 皆、意見が違っていて

おもしろい。この討論は、五分五分だった。また、先生の言から、二つしよう

べきなことをつけられる。1つ目は、「水の使用量が適当すぎる(適当といって

も、理科のあたりなです。国語でもない話)」ということ。ナイル川の使用量、エジプト

75%、スーダ25%、エチオピア0%、1mmも使ってはいけない。」おかし。

Why Japanese people!? おかしいだろ!(おかしなのはそれを決めた

人です)それは... 作りたがる。2つ目は、「ナイル川」の1%である。

ナイル川を1%他の国が使うと、「下流国農民100万人が死にます」

ということだ。だから、今変えようとしても... もうダメと、あきらめそうな感じ

になる。地下水を引上げて、ナイル川に流すための対策はないと。僕は思った。

僕には、人生で、アフリカになど関わることはないし... と他人事にして

ていた。しかし、今回の学習で、グッと自分に近くなった。ナイル川の問題だ

って——。だから、これから、アフリカのこと考えられる人に、僕は話りたい。